

あいち農産物生産流通レポート

2022年2月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ 鉢物コチヨウランでエチレン作用阻害剤(1-MCP)の効果の持続性を検証	(農業総合試験場) 1
◎ 東日本情報	
・ 先端技術等が集まる展示会が開催されました	(東京事務所) 2
◎ 西日本情報	
・ 2021年愛知県農業総合試験場の10大成果	(農業総合試験場) 4
◎ フラワーページ	
・ オザキフラワーパークにおけるこだわりの仕入れについて	(東京事務所) 6
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・ 名古屋・東京市場における青果物の2月の見通し	10
◎ 花き	
・ 切花・鉢花の2月の見通し(県内市場)	22

※今月「地域トピックス」はありません

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

鉢物コチョウランでエチレン作用阻害剤（1-MCP）の効果の持続性を検証

農業総合試験場

1 研究の背景

コチョウランは花の日持ち性が良く、贈答品として人気がある鉢物です。しかし、輸送中に花の萎れや落花が発生することがあり、その原因の一つがエチレンです。エチレンは植物の老化に作用する植物ホルモンの一種で、リンゴなどの果実が熟す際に発生するほか、車の排気ガスにも含まれています。出荷から店頭まで1週間程度かかるため、その間の花の萎れや落花を防ぐ技術が求められています。

これまでの研究で、エチレン作用阻害剤である 1-MCP（1-メチルシクロプロペン）をコチョウランに処理することでエチレンによる花の萎れや落花を防止する効果が確認されていますが、その効果の持続性は明らかになっていません。そこで、本試験では 1-MCP の効果の持続性を検討しました。

2 試験方法と成果の内容

1-MCP の効果の持続性を検証するため、濃度 300ppb で4時間くん煙処理し、2、6、10、12、14、18、22 日経過後にエチレン（濃度 1ppm）に24時間さらしました。その後、花の萎れや落花等が発生するかを確認しました。（注：1ppm は 100 万分の 1、1ppb は 10 億分の 1 を示す単位）

1-MCP 処理から 12 日以内にエチレンにさらした株では、花の萎れや落花は見られませんでした。一方で、1-MCP 処理から 14 日後にエチレンにさらした株ではがく片の裏側が緑化し、18 日以降の株では花の萎れや落花が見られました。この結果から、1-MCP 処理の効果は 12 日間程度持続することが明らかになりました。

1-MCP は、令和 2 年 2 月に植物成長調整剤としてコチョウラン等の洋らん農薬登録されました。出荷前に処理することで、出荷されてから販売店や消費者に届けられるまでのエチレンに起因する花の萎れや落花を防ぐことが可能となります。



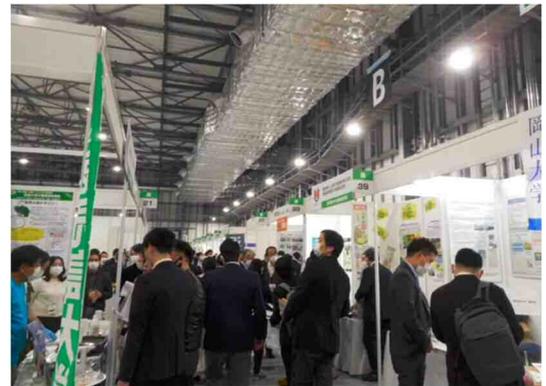
先端技術等が集まる展示会が開催されました

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

農業に関連する様々な分野の先端技術等が集まったアグロ・イノベーション 2021（主催：一般社団法人日本能率協会）などが、2021年11月24～26日に東京ビッグサイト青海展示棟で開催されましたので、その概要を紹介します。

1 アグロ・イノベーション 2021 等の概要

アグロ・イノベーションは、スマート農業を始め、農業における生産・収穫から加工・流通までに関連する先端技術や商品、サービスを紹介する展示会です。また、会場内では全国の産学官の研究機関が農林水産・食品分野などの最新の成果を紹介するアグリビジネス創出フェアなども同時開催されており、最新の情報を積極的に収集する人々で溢れかえっていました。



アグリビジネス創出フェアの様子

2 スマート農業等の先端技術やサービス

展示されていたスマート農業関連機器やサービスには、次のようなものがありました。

アタッチメントの付け替えで複数作業に対応可能な汎用農作業支援ロボットは、収穫物の運搬や農薬散布、残さ収集など様々な作業に使うことができます。レーザー利用による自動追従機能を持ち、カスタマイズ性に優れた協働運搬ロボットは、人に追従して動くため、施肥や薬剤散布、収穫時に重量物の持ち運びが不要となり、斜面でも利用できるため軽労化に大いに役立ちます。農薬散布用ドローンのひとつは、軽量かつコンパクトに加えて省エネで、維持費を考慮したトータルコストを大幅に削減できることを特長としていました。また、中腰姿勢の維持や上向き作業、腕を上げた姿勢をサポートして農作業の負担を軽減するコルセットタイプのアシストスーツを試着した来場者からは、「これはラクだ」といった声が聞こえてきました。



(左) 汎用農作業支援ロボット
(右) アシストスーツ



農薬散布用ドローン

そのほか、ほ場の生育状況を遠隔で把握するとともに気象情報のグラフ表示により作業のタイミングの判断につなげるシステムや、AIを利用した自動かん水システム等により高糖度トマトを生産し、全量買取により生産者の所得確保を行う

マーケットイン農業モデルなどが紹介されていました。

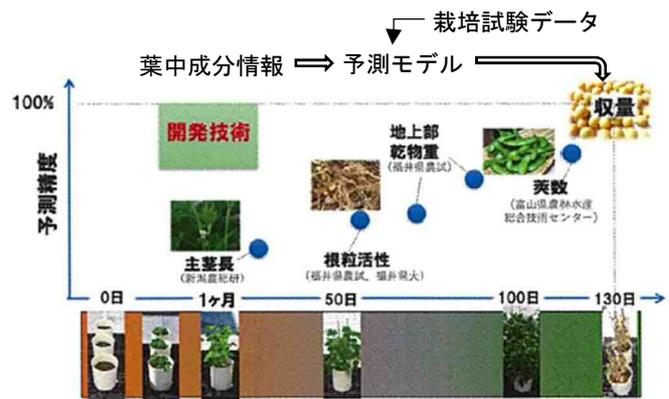
また、生産者同士での農業機械の貸し借りを支援するサービスや運転手付きの農業機械シェアリングサービスが紹介されており、前者は個人同士の貸し借りにはない保険を付帯することで安心につながる特徴があり、後者は通常の収穫以外に、雨天前に急いで稲を刈り取りたいときにも需要があるとの話でした。

3 講演会・セミナー

会場では多くの講演会やセミナーが行われており、その中から2つ紹介します。

(1) 穀物の早期収量予測 (アグロ・イノベーション 2021)

花王株式会社生物科学研究所は、種後1か月程度の早期に、3～4か月後に収穫されるダイズの収量を予測する技術を開発しました。この技術は、葉1枚を用いて葉中成分を解析し、3年分の試験データから構築した予測モデルを用いて収量を予測するもので、これまでに開発された種1か月後の主茎長や50日後の根粒活性を使うものより高い精度となっています。



早期収量予測技術の概要

(会場配付資料一部改変)

予測モデルは、ダイズ以外に、コムギ、トウモロコシ、イネでも開発されました。

この技術により①生産者へ収量診断サービスの提供、②育種者にとっては有用形質に加えて高い収量性を持つ優れた品種の育成の効率化、③資材メーカーにとっては短期間で多数の資材を評価することで効率的な資材開発が期待されます。ただし、収量を予測しても、この肥料が足りないという減収要因を明らかにする技術が未確立なため収量を向上させる対策が立てづらく、今後の課題となっています。

(2) スマート農業のみらいを語る (アグリビジネス創出フェア 2021)

スマート農業実証プログラムとして取り組まれた加工業務用ブロッコリーの機械化一貫体系では、自動操舵トラクター、AI付き全自動移植機、AI付きブロッコリー収穫機の利用で労働時間は半減したものの、一斉収穫のため、通常の出荷ができない小さな花蕾を収穫してしまうことなどが新たな課題となりました。

また、中山間地域の集落営農法人による水稻等の生産では、ドローンによる農薬散布や追肥で夏季の労働時間削減効果が大きいこと、農業機械のシェアリングにより稼働率が向上し、稼働面積の増加により単位面積当たりの減価償却費が下がることが明らかにされました。

スマート農業は、解決すべき課題はあるものの労働時間削減効果が大きく、今後の農業の維持、発展のためには欠かせない技術です。スマート農業の普及、社会実装に向けて、農家だけでなく多くの人に関わることを、地域単位で行うこと、機械化に合わせた新たな栽培技術の開発や規格の設定などが望まれるとされました。

2021年愛知県農業総合試験場の10大成果

農業総合試験場

愛知県農業総合試験場では、農業の発展や農家経営の改善のため、新しい品種や高度な栽培技術・飼養技術の開発を行っています。こうした試験研究について、広く県民の皆様にご理解を深めていただくため、農業総合試験場の研究成果の中から、特に優れたものや社会的関心の高いものを各界の選定委員に選んでいただき、2021年の10大成果として公表しましたので紹介します。

1 2021年の10大成果

第1位	大果・多収・良食味のイチゴ新品種「愛経（あいけい）4号」を開発
第2位	スプレーギクの新品種「スプレー愛知夏3号」を開発
第3位	白系ばら新品種「愛知2号」を開発
第4位	レンコンの簡易品種識別法を開発
第5位	カンキツ「夕焼け姫」の高品質栽培マニュアルを作成
第6位	小麦「きぬあかり」における赤さび病被害低減技術を開発
第7位	濃いピンク色で日持ちが良いスプレーカーネーション 新品種「カーネフジ愛農（あいのう）1号」を開発
第8位	竹を乳用牛の飼料として利用する技術を開発
第9位	ウズラの飼養衛生管理マニュアルを改訂
第10位	新品種開発に向けたアジサイ（鉢花）のニーズを解明

2 選定委員

浅川 晋	名古屋大学大学院生命農学研究科 教授
伊藤 博康	株式会社CBCテレビ報道局報道部 参事
井上 孝司	ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社 基盤技術研究所所長
平光 佐知子	生活協同組合コープあいち 副理事長 （敬称略・五十音順）
仲井 靖	愛知県農業総合試験場 場長

3 特徴・傾向

研究成果の中から選定委員が、「実用性」、「新規性」、「社会性」、「普及性」の項目について5段階で評価しました。2021年の10大成果では、生産者の収益向上や生産物の品質向上につながる新品種が開発が上位を占めました。また、新技術の開発に加え、栽培や生産の集大成ともいえるマニュアルの作成が2課題、新品種開発のニーズ解明など、

多岐にわたる研究成果 10 課題を選定しました。これらのうち、上位 3 課題を紹介します。

第 1 位：イチゴ新品種「愛経 4 号」を愛知県経済農業協同組合連合会と共同で開発しました。本品種は、需要が多い 11 月～2 月の収穫量が多く、4 月末までの収穫量は県内主要品種の「章姫（あきひめ）」と同程度です。平均一果重が 21g と「章姫」に比べて重く、果実糖度は「章姫」、「紅ほっぺ」に比べて高い、大粒で甘くておいしい品種です。

第 2 位：スプレーギク産地では夏季の高温による開花の遅れや生育障害の発生が問題となっています。そこで、高温に強い品種開発に取り組んだ結果、耐暑性に優れ、純白の花弁と緑色の花芯とのコントラストが鮮やかな夏秋系品種「スプレー愛知夏 3 号」を開発しました。

第 3 位：商品性の高い本県独自のオリジナルばら品種の開発に取り組みました。開発した「愛知 2 号」は、①花色が温かい印象を与えるやや黄みを帯びた白系で年間を通じ安定している、②高温期にも芳香性がある、③花冠にボリュームがある、④トゲが極めて少ない、などの特徴があります。

4 公表

農業総合試験場の Web ページ (<https://www.pref.aichi.jp/nososi/>) で、10 大成果の詳細がご覧いただけます。

第 1 位

大果・多収・良食味のイチゴ新品種
「愛経（あいけい）4 号」を開発



第 2 位

スプレーギクの新品種
「スプレー愛知夏 3 号」を開発



第 3 位

白系ばら新品種
「愛知 2 号」を開発



オザキフラワーパークにおけるこだわりの仕入れについて

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

東京都内で最大級の園芸専門店であるオザキフラワーパークについて、店舗の様子や仕入れ方法などについて紹介します。

1 オザキフラワーパークの概要

東京都練馬区にある60年以上続く大型の園芸専門店です。「感じよう！植物の力！（Feel the Power of Plants）」をスローガンとして、商品の陳列などにこだわっており、観葉植物のジャングルやエアプランツのトンネルなど生き生きとした植物を見ることができ、「買える植物園」とも呼ばれています。

また、雨の日や夏季など園芸店の需要が少ない時でも集客するため、地下にスーパーを併設しているのも特徴です。



店舗外観

2 売り場と商品の様子

目玉である観葉植物売り場は、ジャングルと評されるだけあり、大量の商品が頭の上まで並んでいます。エアプランツのトンネルでは側面や頭上に展示されている物はすべて商品で、見上げながら商品を選ぶという変わった体験ができました。

これだけ多くの商品があるにもかかわらず、店頭には並んでいる商品は花がらや、枯れた葉が少なく、非常に管理が行き届いていました。

また、定番で買いやすい商品から珍しい商品まで揃っており、初心者からマニアまで楽しめ、ここに来れば欲しいものが見つかるようなお店でした。



ジャングルのような観葉植物売り場



エアプランツのトンネル

3 仕入れ方法について

商品は東京砦花き園芸市場を中心に、都内や他県の花き市場のほか、生産者から直接仕入れています。市場から購入する際は、生産者と調整した上で仕入れる場合や、生産者名や各種条件を指定して注文するなど、こだわりを持って仕入れをしています。

仕入れは、品目ごとに担当が細かく別れており、観葉や苗物などの植物だけで10人以上ものバイヤーがいます。専門知識豊富なバイヤーが独自の判断で仕入れを行うことで、一般的な商品からややマニア向けの商品まで需要に応じた幅広い商品を集めることが可能となっているようです。

また、バイヤーはより良い商品を集めるために、頻繁に各地の生産者を回り、植物の状態や管理の状況、次に入る苗の状態などをチェックしているとのことでした。仕入れ先の選定には植物だけでなく、生産者との会話を通して伝わるこだわりや、やる気も参考にしているとのことでした。

また、社長の理念として下物の商品は購入しないようにしているそうです。品質が良くない商品を安く売ることによって、商品全体の価値が下がり、適正価格で販売することができず生産者の利益が減ることを防ぎたいとのことでした。

園芸需要が拡大することで、より良い商品を求める消費者ニーズに対応するため、小売店も生産者を選んだ取引が拡大すると予想されます。そこで今後、各生産者が販売を強化していくためには、市場にただ出荷するのではなく、市場や小売店のバイヤーに対してしっかりと品質や情熱をPRすることで、仕入れ先として選ばれることが重要になってくるのではと感じました。



店内に掲げられたスローガン



商品の特徴や管理方法が記載され初心者でも購入しやすい工夫がされたポップ



好みの鉢に植え替えることを想定してポリポットで販売される「ポトス」

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1 % 台以下
 わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：ブロッコリー）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年の主な他産地 (上位3産地)
	3年実績	8, 238	1, 778 (22%)	352	242
4年見通し	7, 850	—	360	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
作柄は今のところ平年並で、豊作だった前年より入荷量は少ない見通し。 販売先は量販店が中心であり、他品目と比較して新型コロナウイルスの影響は少ない。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。			国内における作付け面積が増加しており、価格は下落傾向である。 国内では、量販店向け品種の栽培が中心となっており、加工業務用(冷凍品)は海外産が多くを占めている。国内産の冷凍ブロッコリーへの置き換わりを進め、価格向上を図るためにも、産地には加工業務向け品種の栽培に取り組んでいただきたい。		

○ 東京都中央卸売市場（品目：ブロッコリー）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年の主な他産地 (上位3産地)
	3年実績	35, 524	3, 618 (10%)	368	245
4年見通し	36, 000	—	380	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
熊本などの九州産地が近年作付けを増やし、入荷量は年々増加している。 今作の作柄は悪くないものの、現状は冷え込みや干ばつ等により全国的に生育は停滞気味で入荷量は少なめとなっている。気温が上がり雨が降ると生育が進み、入荷量が一気に増え、それに伴い相場は下落すると見込まれる。 入荷量は前年並となり、価格は前年をやや上回る見込み。			愛知産は品質が高く評価も高いが、量販店には香川産等の規格である20玉中心に配荷するため12玉の愛知産は敬遠されることがあることから、20玉規格を検討願いたい。 また、産地間競争の対応のため、葉付ブロッコリーの出荷拡大をお願いしたい。顧客から12玉・14玉の葉付きでの出荷の要請があるため、顧客確保のチャンスと捉えて検討してもらいたい。		

名古屋・東京市場における青果物の2月の見通し

名古屋市中央卸売市場

1月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)
			上旬	中旬	下旬	
野菜計	29年	30,542	237	241	224	愛知 27%
	30年	27,777	287	285	294	北海道 21%
	元年	30,958	212	207	207	茨城 8%
	2年	33,713	194	194	190	静岡 7%
	3年	32,993	211	209	213	鹿児島 6%
	5ヵ年平均	31,197	226	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	30,200	242	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
愛知と北海道を中心に入荷する。葉菜類と根菜類は低温と干ばつにより小玉傾向で入荷は少ない。果菜類では低温と成り疲れにより入荷の少ない品目も見られる。価格は全体的に平年を下回る動きとなるか。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。						
だいこん	29年	1,709	90	90	95	静岡 41%
	30年	1,374	180	179	183	鹿児島 18%
	元年	1,765	69	84	67	徳島 13%
	2年	1,703	67	64	68	千葉 13%
	3年	1,897	74	81	71	愛知 10%
	5ヵ年平均	1,690	92	96	92	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	1,750	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
静岡を中心に鹿児島、徳島などから入荷する。各産地生育は順調で、太物中心の入荷となる見込み。鹿児島の入荷量が年々伸びてきている。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。						
にんじん	29年	1,994	138	135	141	愛知 93%
	30年	1,611	202	186	218	鹿児島 4%
	元年	1,888	85	84	83	長崎 1%
	2年	2,130	79	74	75	千葉 1%
	3年	2,071	133	123	131	熊本 1%
	5ヵ年平均	1,939	124	118	124	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	2,000	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
愛知主体の入荷となる。愛知は2L中心で安定した入荷となり、単価はやや低いところで安定する見込み。加工・業務用の販売を進めることが重要となる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。						

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

1月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
野菜計	29年	117,268	256	254	256	千葉	17%	
	30年	107,526	314	312	312	茨城	15%	
	元年	114,138	232	242	225	愛知	11%	
	2年	122,037	216	213	215	北海道	11%	
	3年	114,657	232	234	228	神奈川	6%	
	5ヵ年平均	115,125	249	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	4年見通し	113,000	230	—	—			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地、愛知、北海道からの入荷が中心となる。1月は低温と干ばつで一部の品目は入荷が減ることがあったものの、だいこんやキャベツなどは潤沢で安値となった。今後もその流れを引き継ぐとみる。入荷量、価格ともに前年並となる見込み。</p>					
	<p>関東産地、愛知、北海道からの入荷が中心となる。1月は低温と干ばつで一部の品目は入荷が減ることがあったものの、だいこんやキャベツなどは潤沢で安値となった。今後もその流れを引き継ぐとみる。入荷量、価格ともに前年並となる見込み。</p>							
	だいこん	29年	11,607	90	87	93	神奈川	54%
30年		8,925	173	168	176	千葉	34%	
元年		9,831	81	93	67	徳島	3%	
2年		11,082	69	63	73	鹿児島	5%	
3年		9,642	81	84	80	福岡	2%	
5ヵ年平均		10,217	97	97	98	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
4年見通し		10,000	80	80	80			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>神奈川、千葉からの入荷が中心となる。冷え込みと乾燥で生育は遅れ気味。一部では冷えによる葉傷みがみられるも、出荷制限に伴う収穫の後ろ倒しもあり、潤沢な入荷が見込まれる。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並となる見込み。</p>						
<p>神奈川、千葉からの入荷が中心となる。冷え込みと乾燥で生育は遅れ気味。一部では冷えによる葉傷みがみられるも、出荷制限に伴う収穫の後ろ倒しもあり、潤沢な入荷が見込まれる。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並となる見込み。</p>								
にんじん		29年	6,243	161	152	172	千葉	74%
	30年	6,287	178	179	176	鹿児島	8%	
	元年	5,935	101	94	104	埼玉	5%	
	2年	6,009	118	115	126	茨城	4%	
	3年	5,676	151	141	169	愛知	3%	
	5ヵ年平均	6,030	142	137	142	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	4年見通し	5,900	120	85	120			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉を主力に関東産地からの入荷が中心となる。関東の各産地は順調な生育で肥大も良好であったが、冷え込みにより今後の肥大は鈍るか。L～2L中心の入荷となり、下旬に向けて量を減らすか。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
	<p>千葉を主力に関東産地からの入荷が中心となる。関東の各産地は順調な生育で肥大も良好であったが、冷え込みにより今後の肥大は鈍るか。L～2L中心の入荷となり、下旬に向けて量を減らすか。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

1月14日現在

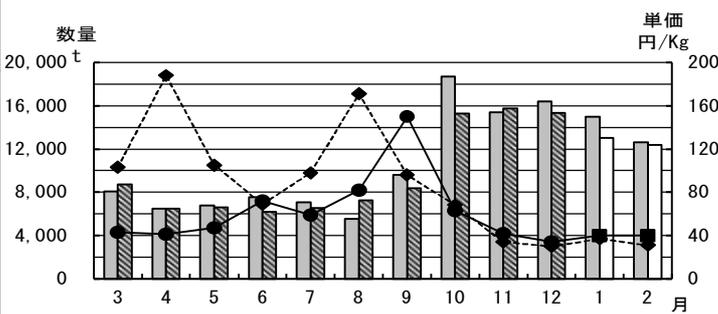
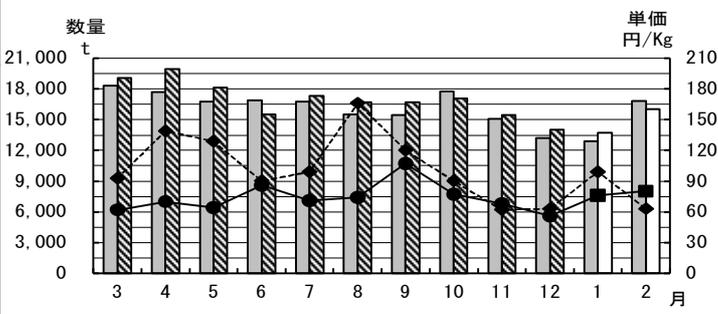
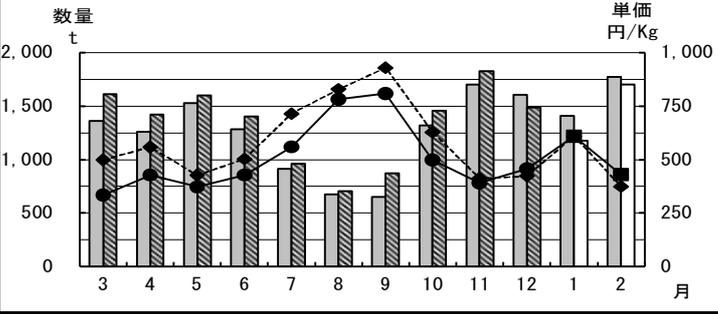
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
はんぱい	29年	2,318	112	99	125	112	兵庫 40%	
	30年	2,527	179	174	182	191	茨城 39%	
	元年	2,712	48	50	49	45	愛知 14%	
	2年	2,608	60	58	54	70	三重 5%	
	3年	2,948	50	51	49	51	宮崎 1%	
	5ヵ年平均	2,622	87	84	89	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	4年見通し	2,770	60	60	60	60		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	兵庫、茨城、愛知などから入荷する。各産地ともに生育順調だが、切り上がり早い見通し。愛知は豊橋地区中心に入荷する。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。							
	キヤベツ	29年	3,259	122	131	127	114	愛知 88%
30年		2,376	239	236	258	226	滋賀 4%	
元年		3,250	76	94	71	67	三重 3%	
2年		3,674	57	52	64	57	茨城 3%	
3年		4,375	64	66	61	61	兵庫 1%	
5ヵ年平均		3,387	101	105	104	95	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
4年見通し		4,000	65	65	65	65		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
愛知主体の入荷となる。愛知は生育良好で順調な入荷見込み。加工・業務用の動きが悪く、価格は低めとなる見通し。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年並となる見込み。								
ほうれんそう		29年	399	479	524	501	417	愛知 52%
	30年	290	677	862	701	530	茨城 24%	
	元年	344	455	541	428	403	岐阜 7%	
	2年	364	424	421	449	414	静岡 7%	
	3年	396	393	427	397	338	徳島 6%	
	5ヵ年平均	358	476	540	486	415	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	4年見通し	400	400	450	400	350		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	愛知を中心に茨城などからも入荷する。1月の冷え込みにより、各産地とも生育停滞気味だったが、気温が高くなる中旬以降、入荷量が一気に増加する見込み。愛知は前年並の入荷を見込む。 入荷量と価格はともに前年並となる見込み。							

東京都中央卸売市場

1月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ほうき	29年	11,287	99	87	111	103	茨城 80%	
	30年	12,466	164	161	156	184	群馬 10%	
	元年	12,476	38	42	41	29	兵庫 6%	
	2年	12,222	51	46	48	60	埼玉 1%	
	3年	12,635	31	33	29	31	愛知 1%	
	5ヵ年平均	12,217	76	74	76	81	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	4年見通し	12,400	40	45	35	40		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に、群馬、兵庫などからの入荷となる。主力の茨城は、年内の温暖な気温と定期的な降水により生育順調で肥大も良好。一部では1月上旬の降雪の影響がみられるものの出回りは潤沢な見込み。 入荷量は前年並となり、価格は暴落した前年を大幅に上回る見込み。</p> 					
	<p>茨城を中心に、群馬、兵庫などからの入荷となる。主力の茨城は、年内の温暖な気温と定期的な降水により生育順調で肥大も良好。一部では1月上旬の降雪の影響がみられるものの出回りは潤沢な見込み。 入荷量は前年並となり、価格は暴落した前年を大幅に上回る見込み。</p>							
	キャベツ	29年	13,889	129	128	129	130	愛知 58%
30年		11,828	252	224	266	280	千葉 25%	
元年		15,497	80	100	74	68	神奈川 12%	
2年		16,495	59	53	64	60	茨城 1%	
3年		16,795	63	66	64	58	静岡 1%	
5ヵ年平均		14,901	108	107	110	109	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
4年見通し		16,000	80	80	80	80		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を主力に、千葉、神奈川からの入荷が中心となる。各産地とも年内の温暖な気温により生育は概ね順調。低温と乾燥のため肥大は抑制傾向も、入荷は順調で相場の上昇は厳しいか。 入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p> 						
<p>愛知を主力に、千葉、神奈川からの入荷が中心となる。各産地とも年内の温暖な気温により生育は概ね順調。低温と乾燥のため肥大は抑制傾向も、入荷は順調で相場の上昇は厳しいか。 入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>								
ほうれんそう		29年	1,718	408	424	419	373	茨城 37%
	30年	1,353	625	755	596	505	群馬 32%	
	元年	1,520	422	505	410	355	埼玉 11%	
	2年	1,703	403	393	460	362	千葉 9%	
	3年	1,773	374	424	358	321	栃木 6%	
	5ヵ年平均	1,613	439	488	442	378	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	4年見通し	1,700	430	550	410	330		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、群馬、埼玉など関東産地からの入荷が中心となる。主力の茨城、群馬は生育良好。一部では病害が散見されるも入荷量への影響は少ない。冷え込みで生育が停滞気味も、気温上昇により増量する。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p> 					
	<p>茨城、群馬、埼玉など関東産地からの入荷が中心となる。主力の茨城、群馬は生育良好。一部では病害が散見されるも入荷量への影響は少ない。冷え込みで生育が停滞気味も、気温上昇により増量する。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

1月14日現在

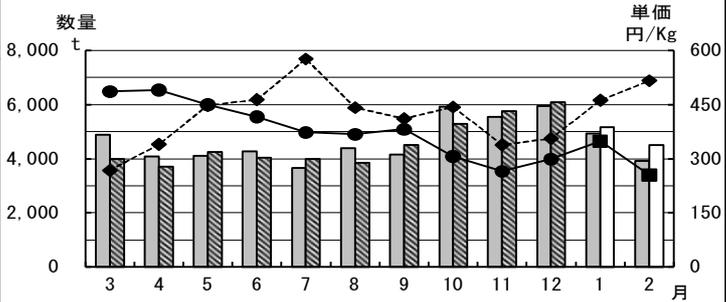
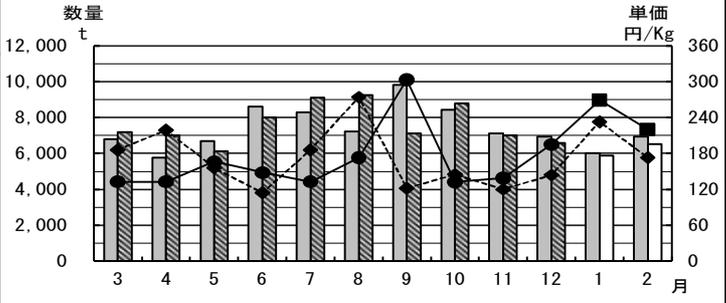
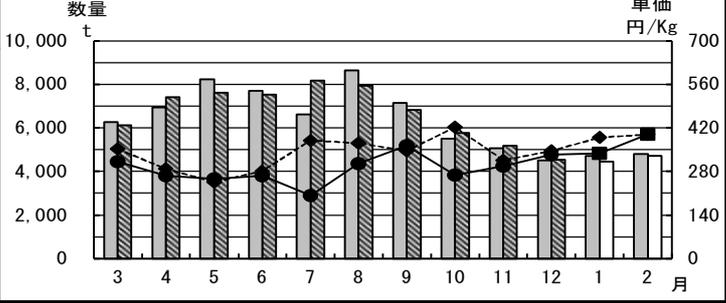
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	29年	755	442	407	476	460	大分 32%
	30年	709	528	516	550	531	静岡 21%
	元年	846	334	338	342	323	鳥取 9%
	2年	972	303	296	303	310	愛知 7%
	3年	780	450	440	447	475	長野 4%
	5ヵ年平均	812	403	391	414	411	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	820	370	400	360	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>大分、静岡、鳥取、愛知などの各産地から入荷する。大分、静岡は生育良好で2L、L中心の安定した入荷となる見込み。愛知の越津ねぎは平年並の安定した入荷を見込む。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
しそ	29年	1,445	241	263	241	222	兵庫 36%
	30年	1,210	376	413	373	333	静岡 20%
	元年	1,437	217	246	217	190	茨城 11%
	2年	1,791	178	187	188	165	熊本 10%
	3年	1,605	187	212	191	154	愛知 10%
	5ヵ年平均	1,497	232	255	234	206	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	1,500	200	240	200	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>兵庫を中心に静岡、茨城などから入荷する。2月中旬までは厳寒期のため少なく、中旬以降は茨城を中心に徐々に増加する見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>					
きゅうり	29年	1,180	304	328	302	278	愛知 61%
	30年	1,313	340	407	309	296	宮崎 16%
	元年	1,230	350	372	337	340	高知 11%
	2年	1,234	417	551	362	350	鹿児島 10%
	3年	1,210	374	433	357	329	群馬 2%
	5ヵ年平均	1,234	357	419	333	319	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	1,210	360	380	350	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に宮崎、高知、鹿児島等の西南暖地から入荷する。大きな病害虫の被害はなく、作柄良好。上旬は節分の影響で若干高くなる見込み。中下旬は各産地安定した入荷見込み。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

1月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	29年	4,456	371	339	398	384	千葉 39%
	30年	4,248	479	467	464	523	埼玉 17%
	元年	4,544	330	331	349	308	茨城 13%
	2年	4,999	249	242	248	259	栃木 8%
	3年	3,922	517	496	514	553	群馬 7%
	5ヵ年平均	4,434	382	368	387	397	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	4,500	255	260	255	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、埼玉、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。一部産地では降雪等による葉折れや葉枯れがみられるものの、総じて年内の好天により生育順調。太物比率が高く、数量は十分と見込まれる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ぎ							
し	29年	6,870	231	248	231	212	静岡 37%
	30年	5,475	362	393	368	314	茨城 15%
	元年	6,854	200	228	198	173	香川 10%
	2年	7,736	168	172	177	155	長崎 9%
	3年	6,945	173	195	174	141	兵庫 9%
	5ヵ年平均	6,776	220	239	222	271	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	6,500	220	240	220	200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡、茨城、香川などからの入荷となる。各産地とも12月下旬以降の冷え込みと、産地により干ばつも加わって生育は遅延気味。小玉が増えることが予想される。初旬は出方が少ないも下旬には増やすか。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ス							
きゅう	29年	5,040	316	341	315	286	宮崎 32%
	30年	5,004	366	425	346	312	千葉 19%
	元年	4,451	367	379	367	355	群馬 17%
	2年	4,663	450	601	381	387	高知 12%
	3年	4,797	399	465	380	338	茨城 10%
	5ヵ年平均	4,791	379	441	357	334	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	4,700	400	470	380	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>宮崎等の西南暖地や千葉、群馬等の関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも生育は概ね順調。産地により作の切り替わり時期となり、重油高もあって、量を減らす時期が生じる懸念がある。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
り							

名古屋市中央卸売市場

1月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	29年	392	419	424	421	410	熊本 59%
	30年	412	437	439	435	439	愛知 36%
	元年	390	439	445	448	430	高知 4%
	2年	448	444	455	442	439	
	3年	428	419	450	414	392	
	5ヵ年平均	414	432	443	432	422	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	430	420	440	420	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、熊本を中心に入荷する。熊本、愛知は作柄良好でL～M中心の入荷見込み。今後の気温や日照量によって、入荷量は大きく増減する予想。 入荷量と価格はともに前年並となる見込み。</p>					
ト マ ト	29年	950	372	391	374	350	熊本 51%
	30年	972	336	311	352	355	愛知 25%
	元年	1,066	320	298	319	349	三重 11%
	2年	1,075	361	386	357	346	岐阜 11%
	3年	1,072	258	244	265	274	大分 1%
	5ヵ年平均	1,027	328	325	332	334	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	1,000	300	300	300	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、三重、岐阜を中心に入荷する。熊本は黄化葉巻病の被害により入荷量が大きく減少する見込み。冷え込みにより消費は鈍く、平年と比べ安値基調となる予想。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	29年	335	793	814	798	780	熊本 68%
	30年	374	745	759	738	736	愛知 24%
	元年	405	711	684	708	749	和歌山 5%
	2年	427	741	789	713	733	宮崎 3%
	3年	477	591	565	608	602	
	5ヵ年平均	404	709	714	706	714	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	400	700	700	700	700	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知を中心に入荷する。冷え込みと重油高が重なり、入荷量は少ない予想。入荷量減により価格は上がる見込み。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

1月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	29年	2,114	466	459	465	475	高知 59%
	30年	1,904	513	503	506	540	福岡 19%
	元年	1,918	492	520	493	469	熊本 13%
	2年	2,126	491	509	480	486	佐賀 3%
	3年	2,298	470	527	451	432	栃木 2%
	5ヵ年平均	2,072	485	504	478	478	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	2,200	475	480	475	470	
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>高知を主力に福岡や熊本など九州からの入荷が中心となる。各産地とも生育は概ね順調だが、成り疲れが見られる産地もある。入荷の少ない時期となるが、気温上昇に伴って増量していくと見込まれる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。</p>						
ト	29年	5,447	404	433	406	370	熊本 37%
	30年	4,972	378	359	392	387	栃木 21%
	元年	4,989	377	360	376	394	愛知 13%
	2年	4,796	428	442	425	416	茨城 4%
	3年	5,448	313	297	323	323	静岡 4%
	5ヵ年平均	5,130	379	377	383	377	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	5,100	360	370	360	350	
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、栃木、愛知からの入荷が中心となる。各産地とも生育はおおむね順調。小玉中心ながら山谷のない安定した入荷が続き、平年並の入荷量が見込まれる。気温が上がれば入荷量は徐々に増える。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>						
ニ	29年	1,433	715	742	702	695	熊本 46%
	30年	1,486	701	716	696	683	愛知 17%
	元年	1,507	689	661	675	736	千葉 9%
	2年	1,507	742	793	709	717	宮崎 8%
	3年	1,729	564	553	571	571	静岡 6%
	5ヵ年平均	1,532	678	688	667	677	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	1,600	620	620	610	630	
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知などからの入荷となる。各産地とも生育はおおむね良好で、草勢や着果に問題はない。低温の影響でやや着色が遅い傾向があるものの、気温上昇により改善し、入荷は安定的と見込む。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

1月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ピーマン	29年	442	575	604	602	528	鹿児島 58%	
	30年	382	737	757	742	677	宮崎 30%	
	元年	367	669	689	671	637	高知 10%	
	2年	323	824	810	812	790	沖縄 2%	
	3年	382	696	725	694	670	0 0%	
	5ヵ年平均	379	693	711	698	652	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	4年見通し	380	690	700	690	680		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	鹿児島、宮崎、高知からほぼ全量を入荷する。2月上旬は冷え込みの影響で入荷量は少ない見込み。中下旬から入荷量が回復してくるが、大幅な増加ではない見通し。入荷量と価格はともに前年並となる見込み。							
	ばれいしょ	29年	2,676	238	225	250	243	北海道 59%
30年		2,547	144	136	151	148	鹿児島 39%	
元年		2,501	118	117	115	119	長崎 3%	
2年		3,150	99	87	106	104		
3年		2,376	250	231	253	279		
5ヵ年平均		2,650	166	156	172	175	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
4年見通し		2,700	235	230	235	240		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
北海道、鹿児島を中心に長崎からも入荷する。鹿児島は生育が回復し、平年並の入荷量となりそう。長崎は干ばつにより小玉傾向で、平年より切り上がり早い見通し。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年をやや下回る見込み。								
たまねぎ		29年	6,218	87	86	93	84	北海道 87%
	30年	5,519	104	102	102	115	静岡 11%	
	元年	6,239	129	126	136	124	愛知 1%	
	2年	6,922	78	83	75	78		
	3年	6,174	89	87	89	97		
	5ヵ年平均	6,214	97	96	98	99	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	4年見通し	4,600	180	180	180	180		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	北海道を中心に静岡、愛知などから入荷する。北海道はL、M中心に計画的な入荷を見込む。静岡は生育順調で中旬にピークを迎えるが、冷え込みにより入荷量は少ない予想。入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

1月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ピーマン	29年	1,516	595	626	616	542	宮崎 49%	
	30年	1,358	757	802	768	672	高知 19%	
	元年	1,442	696	727	709	651	茨城 17%	
	2年	1,277	838	823	827	651	鹿児島 13%	
	3年	1,513	733	782	721	684	沖縄 1%	
	5ヵ年平均	1,421	720	749	724	639	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	4年見通し	1,400	730	750	730	710		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>宮崎など西南暖地と茨城からの入荷が中心となる。西南暖地は各産地とも生育順調も低温のため量を減らし気味。茨城は低温等のため生育不良。気温上昇で増量し、総じて出回りは平年並か。 入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
	<p>北海道を中心に、鹿児島、長崎からの入荷となる。貯蔵物の北海道は不作により残量が少ない。鹿児島も9～10月の高温と乾燥による生育不良で、玉数は少ないが大玉傾向。総じて入荷量は少なく高値が続く。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高騰した前年をかなり上回る見込み。</p>							
	白菜	29年	6,604	227	224	231	226	北海道 70%
30年		7,410	129	128	134	122	鹿児島 29%	
元年		7,422	106	110	104	104	長崎 1%	
2年		8,286	90	87	90	94		
3年		6,300	235	233	235	241		
5ヵ年平均		7,204	152	151	153	152	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
4年見通し		6,000	255	250	260	255		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に、鹿児島、長崎からの入荷となる。貯蔵物の北海道は不作により残量が少ない。鹿児島も9～10月の高温と乾燥による生育不良で、玉数は少ないが大玉傾向。総じて入荷量は少なく高値が続く。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高騰した前年をかなり上回る見込み。</p>						
<p>北海道を中心に、静岡県などからの入荷となる。北海道は、不作に加え前進出荷で残量が少ない。静岡県は冷え込みのため玉伸び鈍く、収穫が後ろ倒しとなる見込み。L中心の出回りとなり、高値が続くとみる。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>								
たまねぎ		29年	11,722	104	100	103	110	北海道 76%
	30年	10,294	121	118	124	122	静岡 20%	
	元年	9,062	154	154	163	145	中国 1%	
	2年	11,194	82	87	82	78		
	3年	9,993	105	105	104	107		
	5ヵ年平均	10,453	111	111	113	111	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	4年見通し	8,000	200	195	205	200		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に静岡県などからの入荷となる。北海道は、不作に加え前進出荷で残量が少ない。静岡県は冷え込みのため玉伸び鈍く、収穫が後ろ倒しとなる見込み。L中心の出回りとなり、高値が続くとみる。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
	<p>北海道を中心に静岡県などからの入荷となる。北海道は、不作に加え前進出荷で残量が少ない。静岡県は冷え込みのため玉伸び鈍く、収穫が後ろ倒しとなる見込み。L中心の出回りとなり、高値が続くとみる。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

1月17日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	29年	7,821	400	379	396	435	青森 24%
	30年	7,115	431	422	432	419	静岡 14%
	元年	7,715	423	401	411	443	愛媛 12%
	2年	7,083	427	406	421	421	フィリピン 12%
	3年	7,865	402	389	410	419	愛知 11%
	5ヵ年平均	7,520	416	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	6,700	430	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	いちご、りんご、みかんなどが主な品目となる。りんごとみかんは前年より入荷量が少なく、小玉傾向の見込み。いちごは生育が遅れているが、前年並の入荷量となる予想。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。						
り	29年	1,522	308	321	297	299	青森 98%
	30年	1,476	325	319	329	331	秋田 2%
	元年	1,843	285	286	292	279	長野 1%
	2年	1,494	329	327	328	336	
	3年	1,929	263	272	259	264	
	5ヵ年平均	1,653	299	302	298	299	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	1,400	330	330	330	330	
んご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	青森が主産地となる。前年作より1～2割程度入荷量減の見込み。また、全品種小玉傾向であり、品質低下が懸念される。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。						
いちご	29年	825	1,234	1,360	1,225	1,125	愛知 55%
	30年	785	1,292	1,437	1,278	1,138	熊本 27%
	元年	720	1,533	1,507	1,539	1,567	鹿児島 6%
	2年	774	1,360	1,538	1,348	1,218	三重 3%
	3年	784	1,420	1,415	1,431	1,413	佐賀 2%
	5ヵ年平均	777	1,364	1,449	1,360	1,286	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	780	1,350	1,400	1,350	1,300	
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛知、熊本を中心に鹿児島などからも入荷する。各産地冷え込みにより生育は遅れ気味である。中旬より2番果がピークを迎える予想。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。						

東京都中央卸売市場

1月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	29年	36,884	438	425	448	446	青森 20%
	30年	32,174	489	475	503	494	静岡 18%
	元年	33,065	483	464	486	506	愛媛 14%
	2年	32,198	494	484	500	498	和歌山 7%
	3年	34,315	468	449	474	492	栃木 6%
	5ヵ年平均	33,727	473	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	32,500	480	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	りんご、みかん、いちごを中心に入荷。みかんは静岡が裏年で前年よりやや少ない見込み。果実総体では入荷量減るも、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で荷動き悪く、単価は伸びない見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。						
りんご	29年	6,713	284	292	283	273	青森 96%
	30年	6,403	305	300	308	310	秋田 1%
	元年	6,610	277	280	280	272	山形 1%
	2年	5,828	344	346	343	344	
	3年	7,009	274	277	272	272	
	5ヵ年平均	6,513	295	298	296	293	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	6,300	310	310	310	310	
ご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	青森の貯蔵品を中心に入荷する。各品種春先の凍霜害の影響で収穫量が少なく、小玉傾向。今後の入荷量は少なく、高単価で推移する見込み。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。						
いちご	29年	4,850	1,260	1,319	1,259	1,193	栃木 46%
	30年	4,624	1,337	1,388	1,336	1,270	福岡 16%
	元年	4,112	1,513	1,489	1,521	1,530	茨城 11%
	2年	4,648	1,431	1,627	1,401	1,288	静岡 8%
	3年	4,630	1,411	1,415	1,413	1,403	佐賀 6%
	5ヵ年平均	4,573	1,386	1,446	1,382	1,331	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	4,500	1,450	1,500	1,450	1,400	
ご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	栃木を中心に福岡、茨城などから入荷する。栃木、茨城、静岡は2月上旬頃、福岡、佐賀は2月下旬頃が2番果のピークとなる見込み。前月に比べ入荷量増え、単価は落ち着くか。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。						

切花・鉢花の2月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 1月31日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	実績等					
輪 ぎ	実績	29年	1,324	49		
		30年	1,676	45		
		元年	1,494	54		
		2年	1,264	43		
3年		810	31			
5カ年平均		1,314	46			
4年見通し		900	40			
概要	愛知を中心に入荷する。作付計画は若干少なく、入荷量も例年より少ない見込み。一般需要が弱い分、葬儀の動きの影響が大きい相場展開。					
小 ぎ	実績	29年	868	30		
		30年	912	37		
		元年	955	31		
		2年	870	31		
3年		445	34			
5カ年平均		810	32			
4年見通し		400	35			
概要	沖縄を中心に入荷する。前年よりも作付計画は減少しているため、出回り量は全国的に少ない見込み。一般需要の動きで単価は平年よりも動きそう。					
カー ネ ー シ ョ ン	実績	29年	843	34		
		30年	929	43		
		元年	1,053	36		
		2年	850	42		
3年		604	35			
5カ年平均		856	38			
4年見通し		600	40			
概要	愛知を中心に入荷する。輸入品は便の不安定さや為替の関係で大きな入荷は計画されていない。全体量としては微減予想。業務関係は引き続き厳しく、家族向けイベントに期待したい。					
か す み	実績	29年	180	59		
		30年	167	86		
		元年	166	66		
		2年	145	76		
3年		118	52			
5カ年平均		155	69			
4年見通し		140	60			
概要	和歌山、高知、熊本から入荷する。1月は気温の低下に加え、日照も少なかったことから出荷予定であった作型が抑制された状態となった。2月に気温が緩むと一気に入荷量は増えてきそう。					

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	29年	230	164	
		30年	224	199	
		元年	235	162	
		2年	235	163	
		3年	133	163	
	5カ年平均	211	171		
4年見通し	150	160			
概要	<p>オリエンタルは高知、宮崎、埼玉、愛知から入荷する。作付けから見ても入荷量は多くなく、ダラダラした入荷となる見込み。鉄砲、LAは、やや少ない入荷となりそう。</p>				
洋らん	実績	29年	350	80	
		30年	364	96	
		元年	390	77	
		2年	362	87	
		3年	161	96	
	5カ年平均	325	86		
4年見通し	170	100			
概要	<p>デンファレは入荷減、旧正月の影響で特にソニアが減少か。胡蝶蘭の国産は2～3月にやや減少、輸入品は物流面の不安が続く。カトリアは入荷量、引合いともに横ばいの見込み。オンジウムも旧正月の影響で2月中旬まで少ない見込み。</p>				
ばら	実績	29年	558	75	
		30年	654	83	
		元年	422	102	
		2年	508	87	
		3年	310	83	
	5カ年平均	490	85		
4年見通し	350	90			
概要	<p>愛知、岐阜、三重を中心に入荷する。輸入品は輸送面での不安定さが懸念される。上旬は世界のイベント「フラワーバレンタイン」の需要があり、赤中心に引合いが見込める。</p>				
枝もの	実績	29年	1,437	43	
		30年	1,519	49	
		元年	1,543	47	
		2年	1,363	51	
		3年	787	54	
	5カ年平均	1,330	48		
4年見通し	900	55			
概要	<p>まん延防止等重点措置等の影響で婚礼関係などのキャンセルが発生している中、本格出荷前のミモザの問い合わせは多い。花桃に関しては全国的に不作で、高齢化、人手不足により入荷量は前年より下回る予想。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
エ リ カ	実 績	29年	7,391	184	
		30年	5,581	194	
		元年	7,271	190	
		2年	6,470	245	
		3年	4,463	255	
	5カ年平均		6,235	210	
	4年見通し		4,000	250	
概要	<p>入荷量は前年より若干減か。今後の天候に左右されるが、人気の品種を中心にポット物の動きは安定する見込み。北日本を中心に昨年のような豪雪被害が無いことを願う。前年2月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位新潟(56.9%)、2位静岡(33.5%)、3位山梨(4.2%)となっている。</p>				
プ リ ム ラ	実 績	29年	251,311	85	
		30年	223,289	84	
		元年	194,405	91	
		2年	210,600	85	
		3年	198,013	109	
	5カ年平均		215,524	90	
	4年見通し		198,000	106	
概要	<p>入荷量は前年並か、やや少なめの見込み。5号のオブコニカやマラコイデスは年々減少傾向である。ジュリアン及びポリアンは前年並の見込み。後半からの卒園式需要が高まるまでは低価格帯で推移しそうである。前年2月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(43.2%)、2位埼玉(11.4%)、3位三重(10.8%)となっている。</p>				
チ ュー リ ッ プ	実 績	29年	28,077	180	
		30年	29,409	146	
		元年	21,481	169	
		2年	30,814	140	
		3年	30,545	198	
	5カ年平均		28,065	166	
	4年見通し		30,000	193	
概要	<p>入荷量は前年より減少か。主要生産者の作付け減少傾向が要因か。サイズ別では4号、5号が中心になり、6号以上がかなり少ない見込み。前年2月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(36.3%)、2位茨城(23.3%)、3位埼玉(18.7%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	29年	60,599	229	
		30年	58,896	229	
		元年	49,984	267	
		2年	43,860	260	
		3年	49,629	292	
	5カ年平均		52,594	253	
	4年見通し		50,000	260	
概要	<p>入荷量は前年並か。生産量はやや減少しているが、開花が遅れている産地もある状況。前年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、需要が高く、相場は安定していたが、今年は卒業や卒園の需要が高まる2月下旬から3月上旬頃までは前年より厳しい見込み。前年2月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位香川(30.0%)、2位埼玉(19.0%)、3位愛知(13.5%)となっている。</p>				
マーガレット	実績	29年	47,725	170	
		30年	51,402	172	
		元年	51,910	202	
		2年	52,516	200	
		3年	51,479	208	
	5カ年平均		51,006	191	
	4年見通し		50,000	200	
概要	<p>入荷量は前年より減少か。作付けの傾向としては小鉢化が一層進んでおり4号サイズが中心になり、鉢数に変動は無いが注文数は減少する見込み。前述の鉢サイズ縮小により平均単価も下がる傾向だが、品薄感から市況としては底堅く推移するだろう。前年2月の主要県の集荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(27.3%)、2位静岡(26.8%)、3位岐阜(16.6%)となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	29年	25,502	712	
		30年	24,597	653	
		元年	23,326	593	
		2年	20,587	602	
		3年	15,034	718	
	5カ年平均		21,809	653	
	4年見通し		15,000	707	
概要	<p>入荷量は前年並か。昨年同様、7号以上のサイズは少ない。サイズ別では、4号～6号が中心になる見込み。前年2月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(56.3%)、2位高知(13.6%)、3位岡山(11.4%)となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.584
2022年2月発行
農業水産局農政部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434